

三浦外洋セーリングクラブ 理事会議事録

開催日：2021年1月20日（水）18:30～20:10

場 所：Zoom ミーティング

出席者：理 事：荒嶋、安藤、飯島、伊藤、小川、尾山、加藤、北川、黒岩、小板橋、才藤、坂口、
庄野、関根、高木、平松、三輪、

監 事：石原、最川

顧 問：児玉

オブザーバー：五十嵐、鈴木

(五十音順、敬称略)

庄野会長から年頭の挨拶に引き続き、尾山理事の進行により、Zoom ミーティングによる会議開始時点での参加人数が定足数を満たしていることから理事会の成立について確認され、会長が議長となり、議事録作成人に小板橋理事、議事録署名人に高木理事を指名して、下記議案を審議した。

なお、冒頭に昨年末にお亡くなりになられた当クラブ名誉会員・JSAF 名誉会長であられた故山崎達光氏に対して黙とうを捧げた。

また、オブザーバーとして五十嵐様と鈴木様が紹介され、ご本人からご挨拶があった。

<審議事項>

1. みさきヨット無線局 銀行口座名義変更

庄野会長から、三団体でみさきヨット無線局を運営しているが、事務については MOSC 事務局が担当しており、事務局長が関根理事より坂口理事へ交代されたことに伴い、みさきヨットの預金口座（三井住友銀行・蒲田西支店 普通預金 口座番号 7057201）が前会長の尾山理事のままになっていることから、今般庄野会長の名義に変更した上で来年度に新会長に変更する主旨である。なお、三崎ヨット無線局については、石原監事に通信委員長をお願いしており、ZOOM 上で通信委員会を開催して引き継ぎを実施することとなっている。本件については、承認された。

2. 加盟団体ガバナンスコード 開示義務なし

庄野会長から外洋団体にはガバナンスコードの開示義務がない旨の経緯説明があり、その後平松理事より JSAF のホームページにはガバナンスの方針は既に掲載されており外洋団体についても出来るだけ公表して欲しいとのことであったが、川北専務理事に確認したところまだ公表しなくても良いとの結論であった旨説明された。ガバナンスコードの開示義務は公的資金の入っている団体であることから、今開示する必要がないことら他の外洋団体と歩調を合わせることにして、整備は引き続き行い様子を見ることで、承認された。

3. 総会開催方法・議案

庄野会長より、来月 17 日に開催される総会については、従来型の総会開催は難しく、①ハイブリット、②オンライン、③書面決議の 3 方法が考えられ、いずれかの方法を採用するのかを諮ることが提案された。各理事等から意見が出され、書面による委任状及びオンラインによる併催でフィジカルは実施しないことで、承認された。

庄野会長から、議案については 2020 年度決算案、2020 年度貸借対照表、2020 年度基金収支計算書及び貸借対照表、2020 年度事業報告、2021 年度事業計画、2021 年度予算案である旨説明された。関根理事より決算については 1 月 15 日に監査が行われ監事より承認頂いた。予算に対して収入が減っている理由は、入会者が減っていることによる。出金についても講習会が出来なかったことや会議が ZOOM になったこと等により、減っており、予算では赤字であったが結果として黒字着地となった旨が報告された。小坂橋理事より基金については会員数に 1,000 円を乗じたものが毎年積み立てられている旨報告された。

庄野会長から、事業報告について説明され、決算等は承認された。

坂口事務局長より、2021 年度予算案について説明があり、メディカル講習会は総務委員会予算に含まれていることが確認された。また、2021 年度事業計画案については例年通りである旨確認された。

庄野会長より、2021 年度予算案及び事業計画案についての提案があり承認された。

4. コロナ禍での会員サービス

庄野会長より、今回の事務局交代に際して、関根理事より昨年状況から会員サービスが出来ていないことにより、総会の案内に合わせてサバイバル毛布の様なものを郵送してはどうかとの提案があり、会員サービスの意味からレースが出来ていないことで会員に何かお返しすることを考える必要から提案する趣旨である。関根理事より、ものを配るのは一例であるが、何もしていないことから何かしたら良いと考え、金額的にも適合することからの提案との意見が述べられた。庄野会長より何か送るならこのタイミングであるが、これから皆さまのお知恵を拝借して、今後検討していくこととして、継続審議とすることとなった。

5. アニオールズカップ（外洋学連）協力依頼

庄野会長から、例年通りに学連からアニオールズカップを開催するので、金銭面で協力頂きたいとの依頼がきたので、昨年までも MOSC からは 2 万 5 千円の寄付、関東 4 団体で 10 万円を寄付しており、今年も同様に実施したいとの提案があり、予算的にも総務委員会に組み込まれており問題ないことから、承認された。

6. ルール講習会の開催について

三輪ルール委員長より、昨年「今さら聞けないシリーズ」とルール改定の勉強会を合わせて計画していたが、ルール改定のポイントは沢山ないことと集合しての講習会は今の時点で好ましくないことから延期したらとの提案があり、2 月 20 日のルール講習会は延期する

ことで承認され、告知をホームページに掲載して改定内容にリンクを張ることとした。

<報告事項>

1. 理事の異動

尾山理事より、小網代Fの星野理事が多忙のため交代したいとの申し入れがあり、理事退任となった。補充理事についてはフリーの議決で変更できるとのことで、小網代Fの総会で五十嵐理事が選出され理事交代となるので、そのために準備しているところで、本日も参加して頂いている状況である。なお、伊藤理事の定年時期について誤解していたため、鈴木様には1年間オブザーバーとして理事会に参加頂くことで、お詫びと訂正について報告された。庄野会長からは、伊藤理事の技術や経験などを若い世代に承継して欲しいとの依頼が伊藤理事に対して要望された。

2. 事務局交代・引き継ぎ

関根理事より、事務局交代引き継ぎについては、坂口事務局長に快く引き受けて頂き、17日に最後の通帳等が引き渡しされ、順調に進んでいるので更なるステップアップになると思われる。今回の引き継ぎデータが次回の引き継ぎに役立つと思われる。あと1年間はフォロー、お手伝いをしていくとの報告があった。引き続き、坂口事務局長より就任にあたっての挨拶があった。引き継ぎの連絡については、坂口事務局長が実施することであることが確認された。

3. 会計報告

庄野会長より、議案で決算・予算が審議されており、この項目は削除とすることとなった。

4. 1/15 監査結果

石原監事から、1月15日にオンライン方式により監査が行われ、特に問題なく終了した旨、報告された。

5. 1/23 全国加盟団体代表者会議 並びに 1/24 外洋団体長・事務局長会議

これら会議は全てオンラインで実施されることとなっており、内容については次回報告するとのことであった。

6. 2/6 外洋合同会議

本会議は、北川理事、三輪理事、飯島理事、伊藤理事が参加されることとなっており、オンラインで開催されるとの報告であった。

三輪理事より、ルール委員会でカーボンセールに紺のセールナンバーをつけている艇について問題提起しており、ルール委員会が抗議を出してプロテストで失格させることが出来るが、警告を与えて直させるとルールに記載されているので、オーナーは注意して欲しいとの報告

があった。

7. 2/21 JSAF コンプライアンス研修会

庄野会長から、JSAF からの通達で各団体の会長は必ず参加のことであったので、今回は 1 名で参加するが、JSAF は然るべき立場の人たちに広く受講して欲しいとのことらしいことから、同じような研修が企画されることとなる際には興味のある方は参加して欲しい旨、要望された。

8. その他

平松理事から、JSAF 外洋常任委員会が開催されて、セールナンバー発行規則を作ること、パリオリンピックで外洋艇のダブルハンドが採用されることについて、報告があった。

また、ZOOM 会議開催にあたり、MOSC が正式に契約して今後の各委員会等でも使える様に、事務局長が管理することが了承された。

来年度、飯島理事から荒嶋理事へレース委員長を引き継ぐ旨、報告があった。

以上で本日の議事をすべて終了し、20 時 10 分閉会した。

以 上

2021 年 月 日

議事録署名人